

最優秀賞

ルールの本当の意味

西南学院小学校 5年 小田 向日葵

「青は進め」じゃなかった。この事を初めて知った時、「もっとたくさんの人に知らせなくちゃ。」と使命感のような気持ちがわいてきました。

私の住んでいる町は、住んでいる人たちの中で高れい者の割合がとても高く、歩いて行けるはん囲にスーパーや病院が無いので、自転車や車がないと生活しにくい所です。

母の運転する車に乗っていると、年れいのちがいでこんなにも行動がちがうのか、という事に気づかされます。子供は急いでいる事が多く、青になったとたんに走って渡り、自転車では右側も左側も関係なく全力で、とっ風のように進んでいきます。一方、高れい者は昔の感覚で、車かと切れたら横断歩道じゃない所でもどこでも渡ってしまうし、車では自転車感覚で急に止まって、用事のある所で道路に車を止めて行ってしまい、とてもマイペースに感じます。

「青は進め」と、とっ進する感覚のまま、子供が大人になってしまったら、高れい者の行動が読めなくて大変な事故になってしまいます。青は「進むことができる」なので、「進みなさい」ではなく、「あなたの進む番が来ましたよ」ということ。安全を確認して、他の人や車の動きを読んで進まなければなりません。

ルールを正しく守れている上で、周りの動きを読んで行動する。正しいかどうかは大事だけれど、その場に合う行動がとれる判断力を身につけなくては、と感じています。

これからはわたしたちは成長してもっと行動はん囲が広がっていきます。ルールの本当の意味を良く理解し、行動にうつせるよう、たくさん学んでいきたいです。